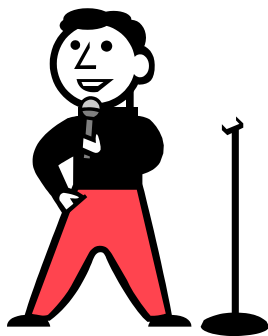




まんざい

漫才はいつからおこなわれているの？

こた めん
答えはうら面で！



こたえ おおさか わら へいあんじだい じんじゃ てら
答：大阪といえば笑いですよね。平安時代に神社やお寺で
おこなわれていた「万歳」が今の漫才のもとだといわれて
いるそうです。

しら 調べてみよう！

『ふしぎがいっぱい!ニッポン文化 3. 近畿地方のふしぎ文化』
(こどもくらぶ/編・著 旺文社 2009.2 J291/184N/1-3)
大阪府のページに「漫才の歴史」についての説明があり、上方芸能に
ついて触れられています。(中学年～)

『お笑いコミュニケーション 1～3』
きょういくがげき
(教育画劇 2015.2～4 J779/92N/1～3)
笑いの種類や、漫才のやり方、世界の笑いまで、コミュニケーション
の道具としての“笑い”について理解が深まります。1巻「味わおう!お
笑い」、2巻「やってみよう!お笑い」、3巻「お笑いの歴史と研究」。
(高学年～)

『じごくのそうべえ：桂米朝・上方落語・地獄八景より』
たじまゆきひこ さく どうしんしゃ
(田島征彦/作 童心社 1978.5 E0/6342N/夕)
上方落語の「地獄八景亡者戯」を題材にした絵本。大阪弁でテンポ
のいいお話です。声に出して読むとさらに楽しいですよ。(低学年～)

い 行ってみよう！

おおさか かり つかみがた えんげい しりょうかん かみがた
「大阪府立上方演芸資料館 ワッハ上方」
(電話番号：06-6631-0884)
URL: <http://wahha-kamigata.jp>
ぜんこく ゆいいつ わら しりょうかん
全国で唯一の「笑い」の資料館です。